

第42回 景気動向アンケート報告

(2015年5月～8月期)

＜今期DI値は+5で前年同期比▲4ポイント、来期は+7で前年同期比+1予測＞

○全体業況判断DI（好転企業数－悪化企業数）÷回答企業数の％、直近3年の推移表

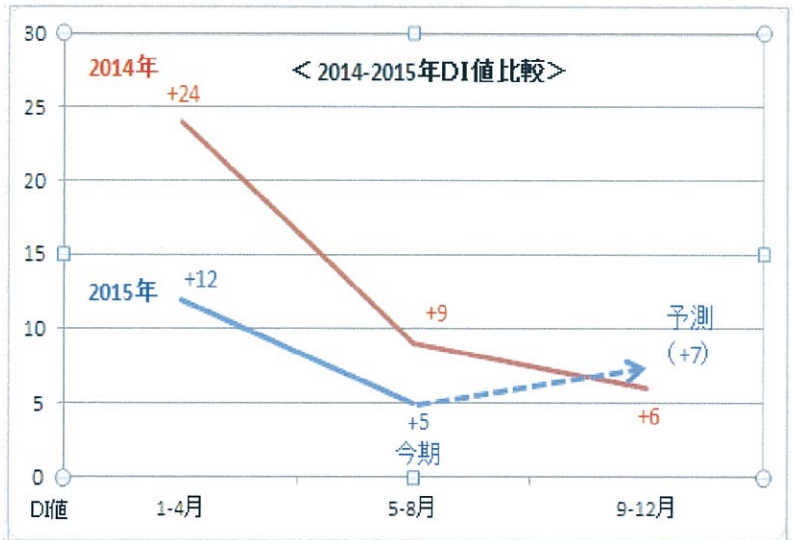
年	1-4月	5-8月(今期)	9-12月	年毎平均値	前年比
2015	+12	+5	予測(+7)	予測含む(+8)	予測含む(▲5)
2014	+24	+9	+6	+13.0	▲3.6
2013	+8	+16	+26	+16.6	+11.0

○ 鹿児島の中小企業家の業況判断は、今期(2015年5-8月期)DI+5で、前年(2014年)同期の+9に比べ▲4ポイント下降。来期(2015年9-12月期)予測DIは、+7で前年同期比+1と横ばい。

○ 個別指標実績の前年同期、今期比較は、売上DI+4→+10、収益DI▲8→▲3、資金繰りDI▲4→+1と全指標+5ポイント程上昇。▲4ポイント下降の上記業況との間に齟齬。

○ 業種別業況DIの前年同期、今期比較は、今期の数字が良い順に、小売業DI▲11→+42、卸売業DI±0→+40、事業所向けサービス業DI+32→+26、建設業DI+33→+8、製造業DI▲10→▲28、個人向けサービス業DI▲25→▲37の結果。けん引役の建設業の落ち込みが全体に影響している。来期の建設業は+5の予測。

○ 「推移表」を見ると、2014年5-8月期から、今期と+5～+10程度あたりのDI値。前回調査時の今期予測は▲9で、DI値マイナスへの不安が生じた。だが、今回調査では来期も+7を予測。「グラフ」の比較では、前期比のマイナス幅が縮まって行く傾向にあることが分る。



概要

経営上の問題点

「経営上の問題点」として経営者が注視している点は、“従業員の不足”(23point)“受注競争の激化”(22point)、“価格競争の激化”(21point)“売上の減少”(20point)が挙げられた。因みに“従業員の不足”“受注競争の激化”は前回の調査結果においても最上位クラスに位置していた。このことは人口減少と円安影響等が背景として挙げられる。鹿児島の地域として人口対策及び経済活性化が急務と思われる。

経営上の力点

「経営上の力点」として経営者が注視している点は“付加価値の増大”(30point)と“新規受注(顧客)の確保”(30point)が最も高かった。この結果は前回と全く同様で、経営者として力を注ぐべき点が定着していると言える。新しい付加価値を創造することにより、少子高齢化による人口減少という市場背景に対して対応策を模索しているものと思われる。

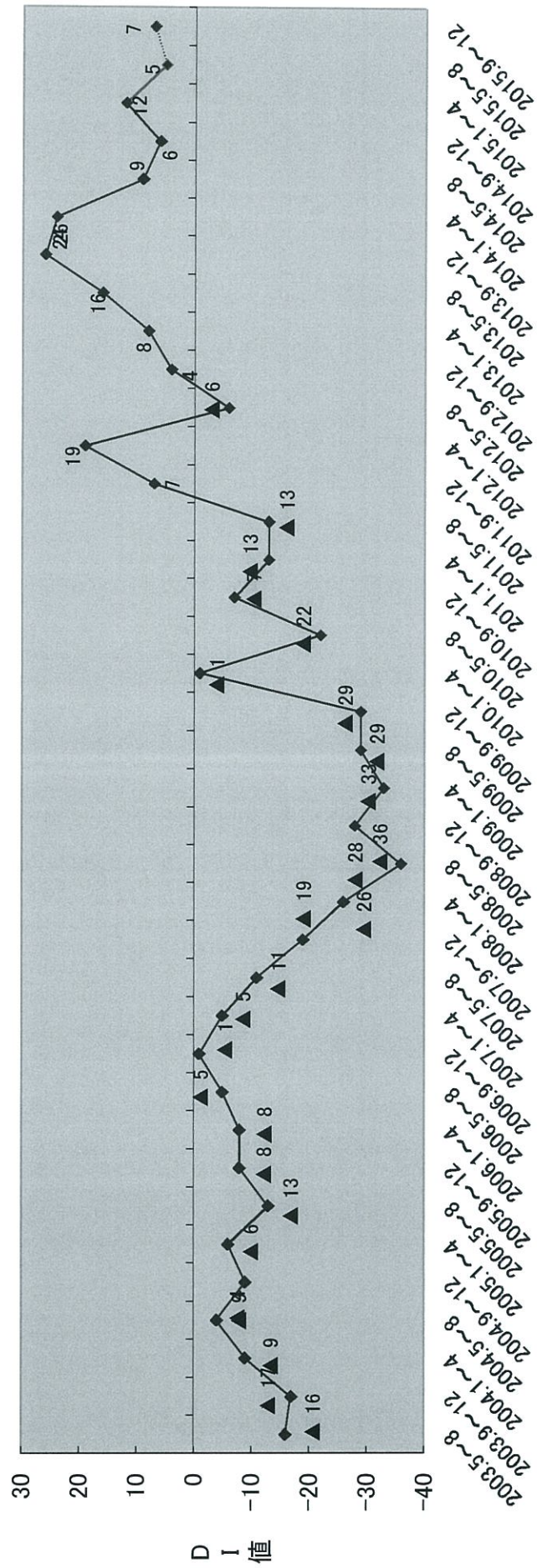
女性活躍推進等について

81社中39社(48.2%)に女性管理職がおり、経営者同族27社(33.3%)、従業員12社(14.8%)という内訳であった。管理職登用など女性活躍推進を明文化している企業は回答企業76社中4社(5.2%)とごく少数に留まった。検討しているのは7社(9.2%)。女性に限らず社員全員の活躍を推進しなければとの思いから、あえて明文化しないとの意見もあったが、女性活躍推進の意義、経営上の利点として、会社のイメージアップ、女性ならではの視点の導入等の意見を記載頂いた。本アンケートが、少なくとも自社の発展と女性活用の間にプラスの関係性があるのではないかと、問題意識を持って頂く契機になれば幸いである。

非正規社員の正社員登用制度がない企業が52.6%も存在することは、能力ある者を活用するという視点からは、もったいない(但し、厚労省のH21年調査でも50.4%)。逆に、定年制がない企業が20.7%あるのは高い数字(厚労省のH21年調査7.3%)。

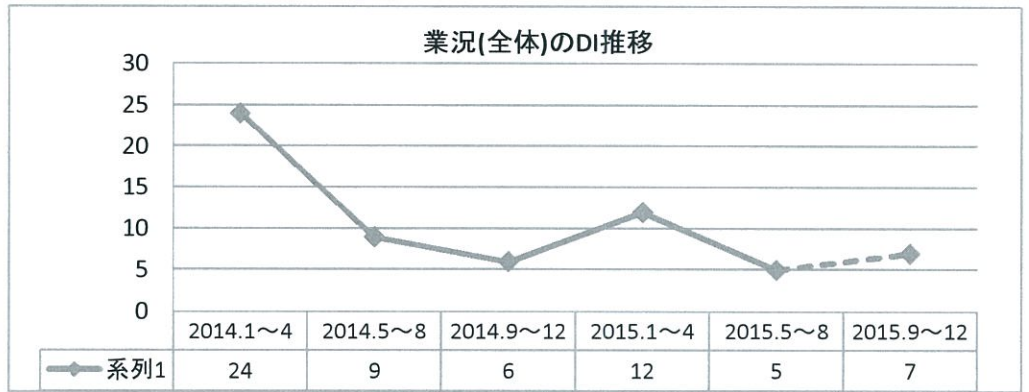
1. 対象企業 鹿児島県中小企業家同友会会員企業(275社)
2. 対象期間 2015年5月～8月期実績、2015年9月～12月見通し
3. 調査期間 2015年10月1日～2015年10月15日
4. 調査方法 FAXによる自計記入を求めた
5. 回答企業数 77社より回答を得た(回答率28.0%)

全体の業況

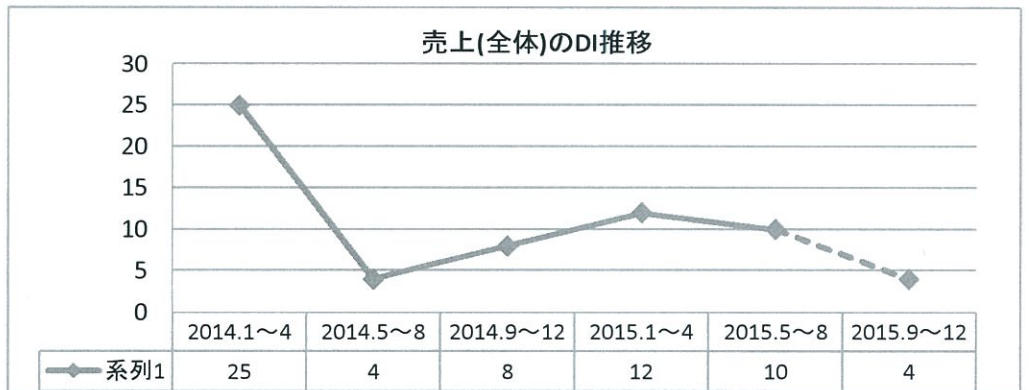


全体

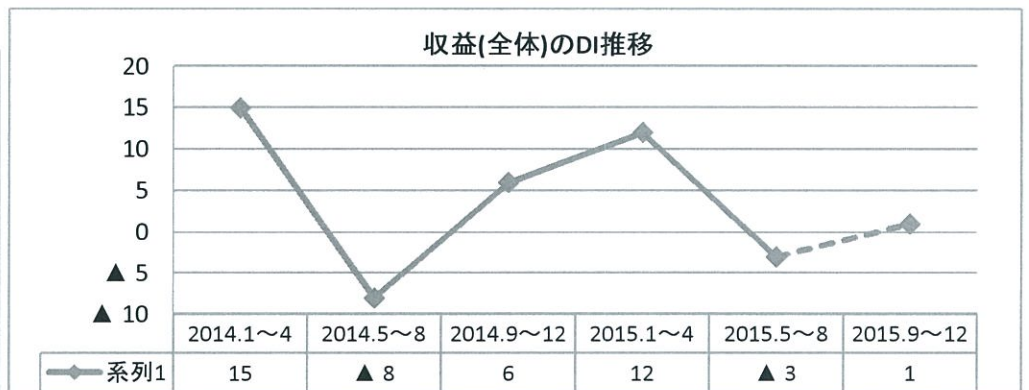
今期の業況は「良い」25.0%、「変わらず」55.9%、「悪い」19.0%でD.I.5となっており、前期に比べ、やや下降しています。
来期の業況はD.I.7と若干上昇する見通しです。



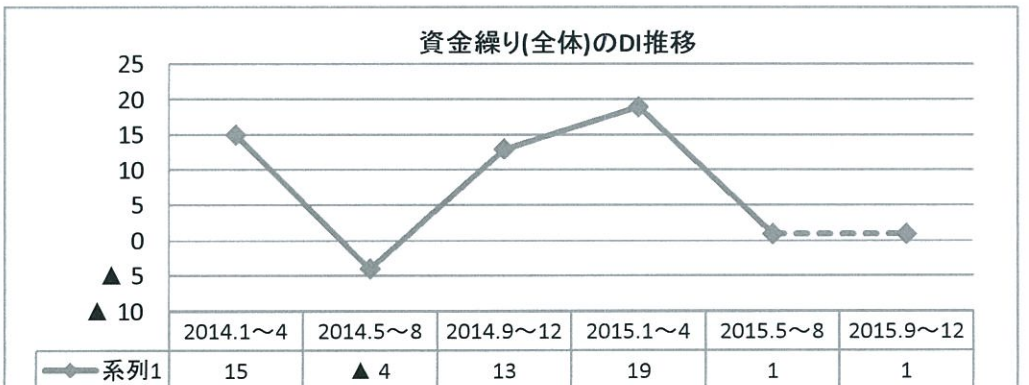
今期の売上は「良い」28.2%、「変わらず」54.1%、「悪い」17.6%でD.I.10となっており、前期に比べ、やや下降しています。
来期の売上はD.I.4と落ち込む模様です。



今期の収益は「良い」21.2%、「変わらず」54.1%、「悪い」24.7%でD.I.▲3となっており、前期に比べ大きく下降しています。
来期の収益はD.I.1とやや上昇となる模様です。

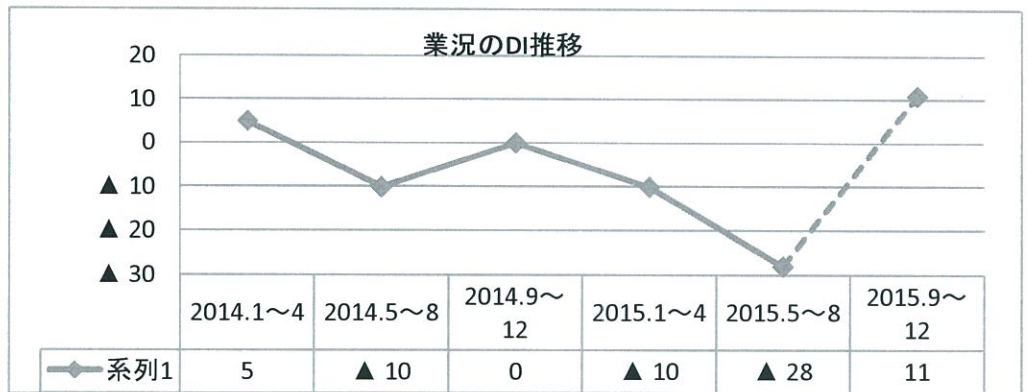


今期の資金繰りは「良い」15.3%、「変わらず」70.6%、「悪い」14.1%でD.I.1となっており、前期に比べ大きく下降しております。
来期の資金繰りはD.I.1と横並び状態の模様です。

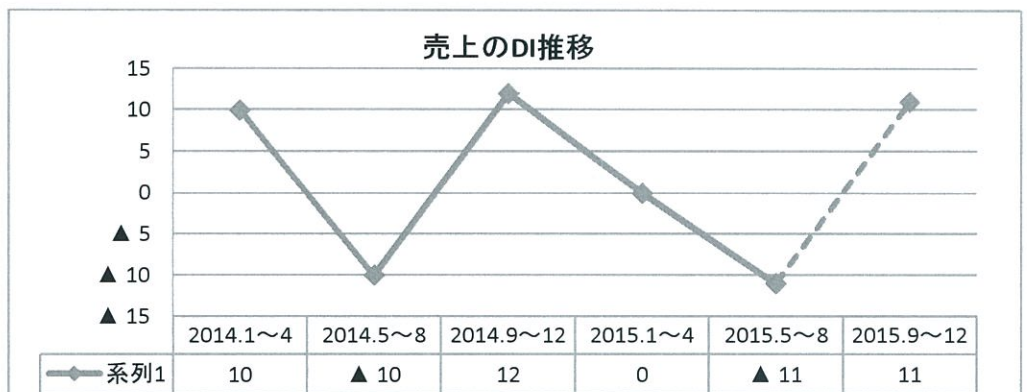


製造業

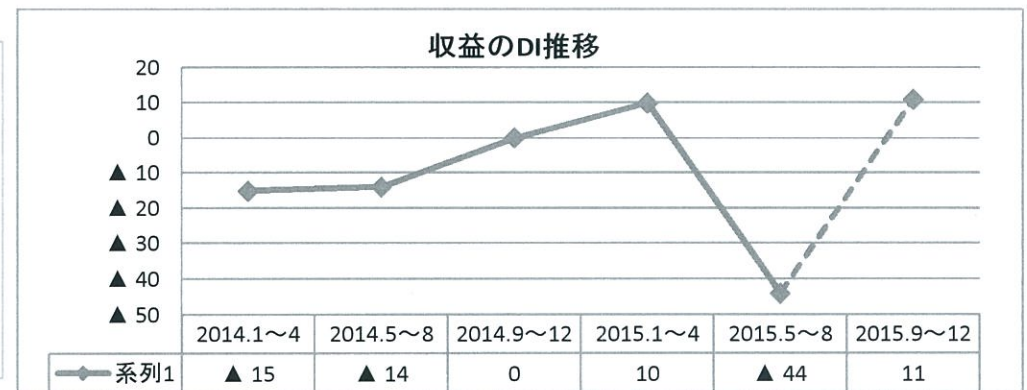
今期の業況は「良い」0%、「変わらず」71.4%、「悪い」28.6%でD.I.▲28となっており、前期(▲10)に比べ更にダウンしています。
来期の業況はD.I.11と上昇する模様です。



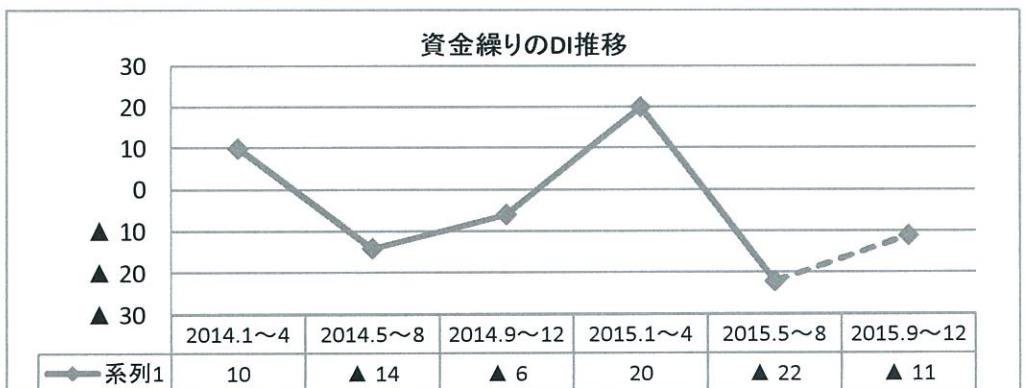
今期の売上は「良い」11.1%、「変わらず」66.7%、「悪い」22.2%でD.I.▲11となっており、前期(0)に比べ更に下降状況となっています。
来期の売上はD.I.11と上昇の見通しです。



今期の収益は「良い」0%、「変わらず」55.6%、「悪い」44.4%でD.I.▲44となっており、前期(10)に比べ大幅に下降しています。
しかし来期の収益はD.I.11と大きく上昇の見通しとなっています。

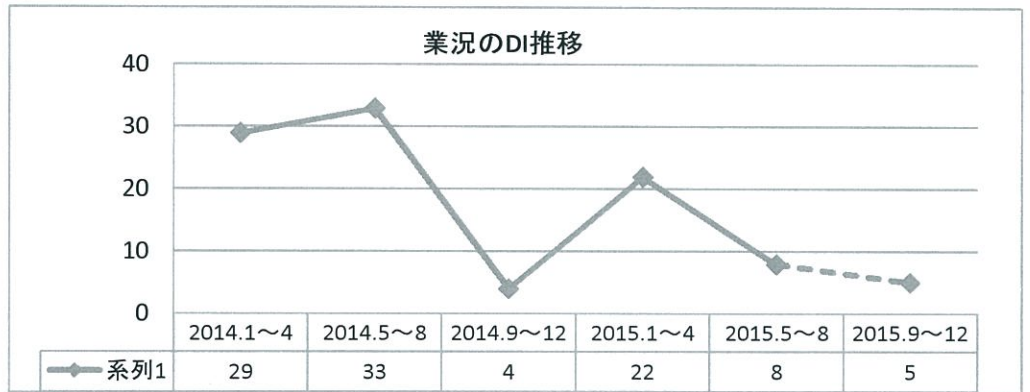


今期の資金繰りは「良い」0%、「変わらず」77.8%、「悪い」12.20%でD.I.▲22となっており、前期(20)に比べ大きく下降しています。
来期の資金繰りはD.I.▲11と多少上昇の見通しとなっています。

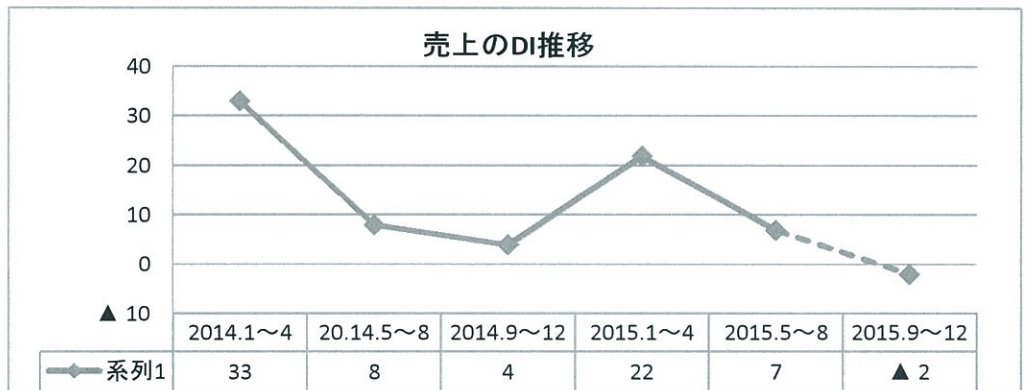


建設業

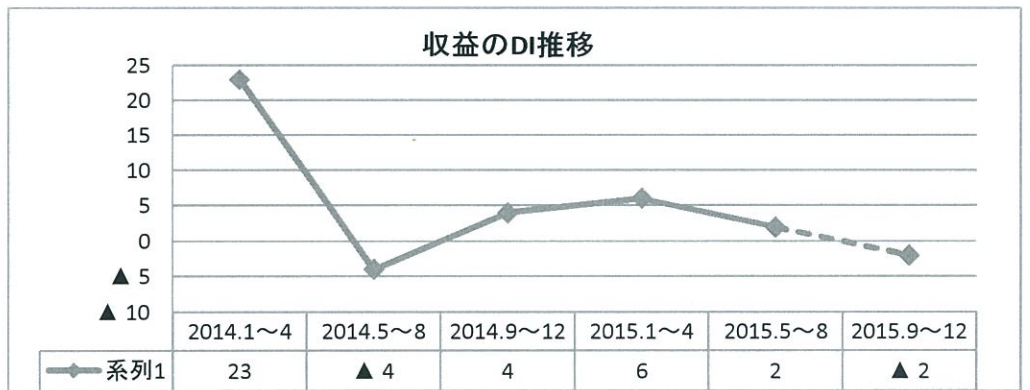
今期の業況は「良い」24.3%、「変わらず」59.5%、「悪い」16.2%でD.I.8となっており、前期(22)に比べ下降しました。来期の業況はD.I.5と引き続き下降する模様です。



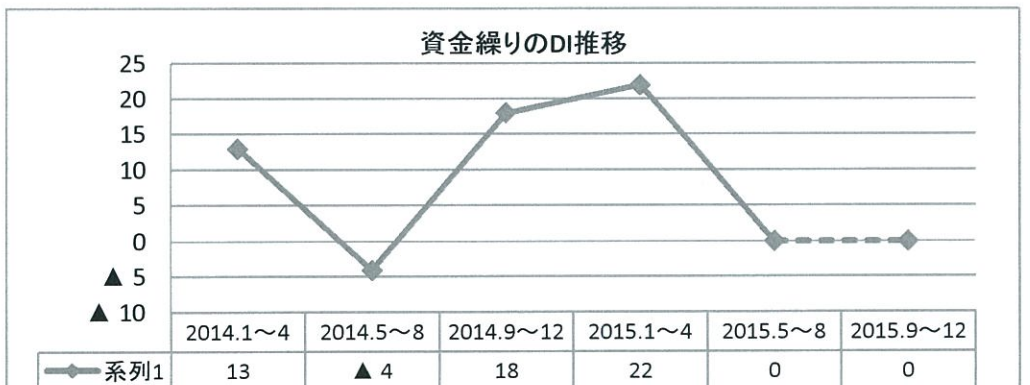
今期の売上は「良い」26.3%、「変わらず」55.3%、「悪い」18.4%でD.I.7となっており、前期(22)に比べやや大きく下降しています。来期の売上はD.I.▲2と更に下降する模様です。



今期の収益は「良い」21.1%、「変わらず」60.5%、「悪い」18.4%でD.I.6となっており、前期(6)に比べやや下降しています。来期の収益はD.I.▲2と引き続き下降する模様です。

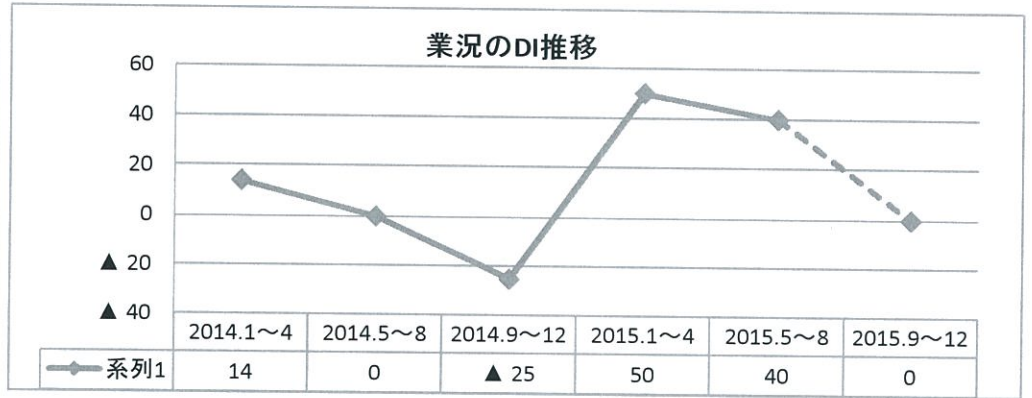


今期の資金繰りは「良い」13.2%、「変わらず」73.7%、「悪い」13.2%でD.I.0となっており、前期(18)に比べ大幅に下降しています。来期の資金繰りはD.I.0と横並び状態の模様です。

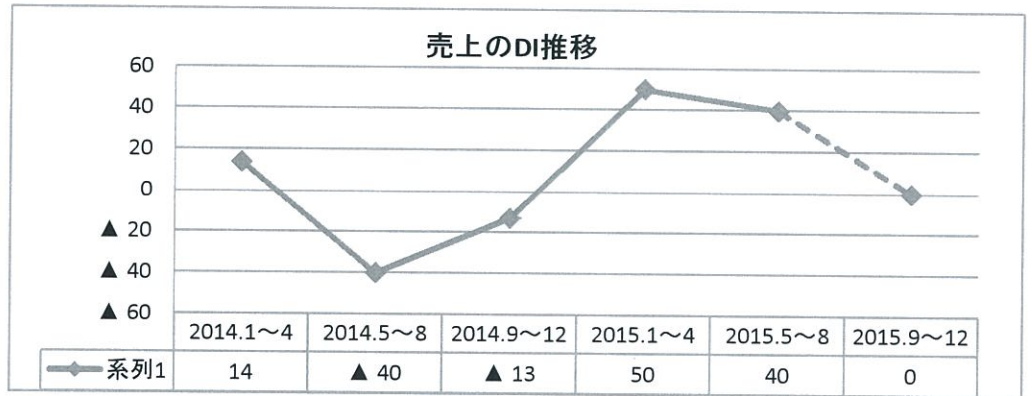


卸売業

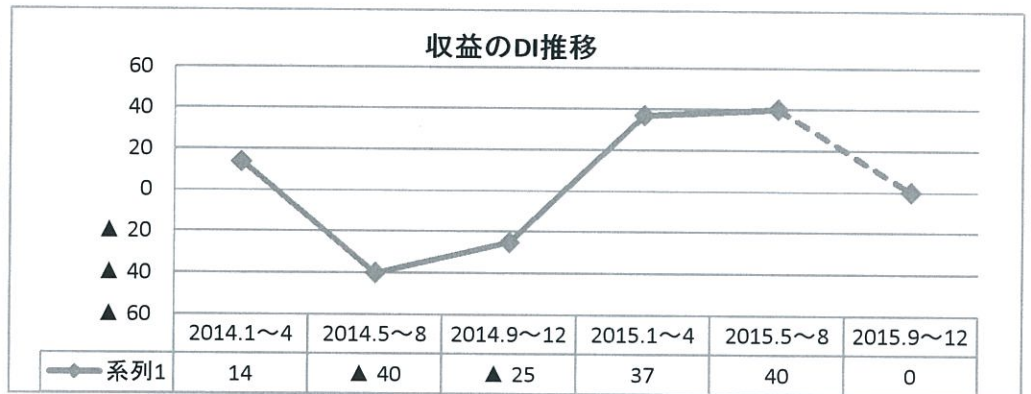
今期の業況は「良い」60.0%、「変わらず」16.7%、「悪い」16.7%でD.I.40となっており、前期(50)に比べやや下降しています。
来期の業況はD.I.0と大きく下降する見通しとなっています。



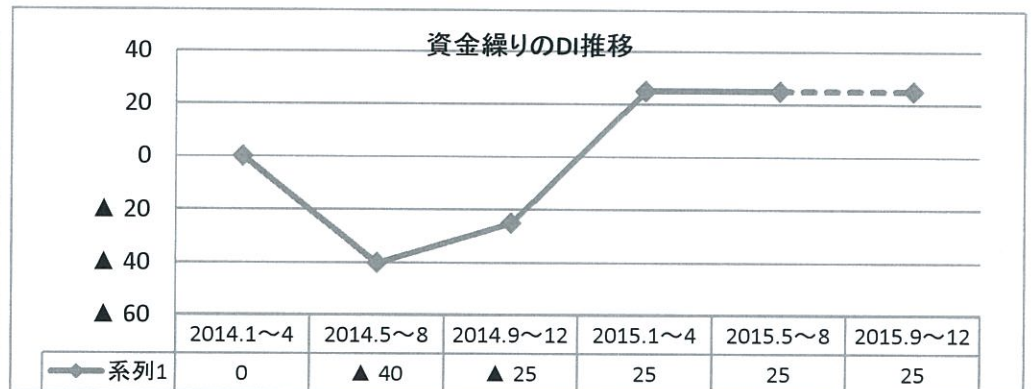
今期の売上は「良い」60.0%、「変わらず」16.7%、「悪い」16.7%でD.I.40となっており、前期(50)に比べやや下降しています。
来期の売上はD.I.0と大幅に下降する模様です。



今期の収益は「良い」60.0%、「変わらず」16.7%、「悪い」16.7%でD.I.40となっており、前期(37)に比べ微増状況です。
来期の収益はD.I.0と大きく下降する模様です。

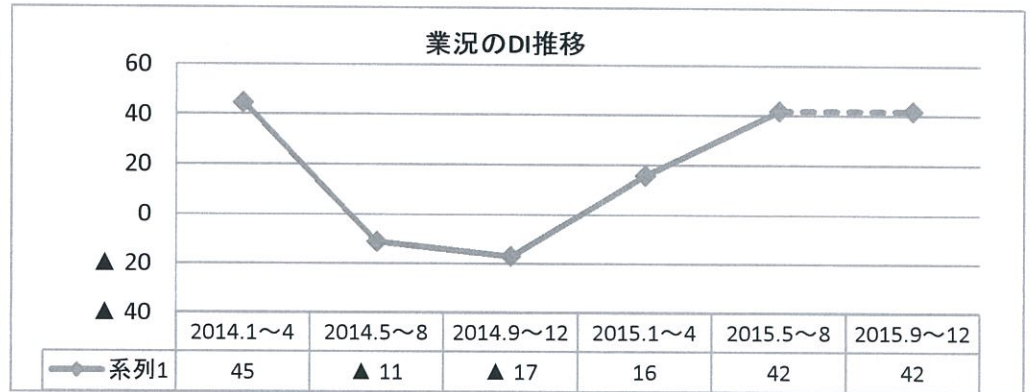


今期の資金繰りは「良い」25.4%、「変わらず」75.0%、「悪い」0%でD.I.25となっており、前期(25)に比べ横並び状態です。
来期の資金繰りはD.I.25と引き続き横並び状態になる模様です。

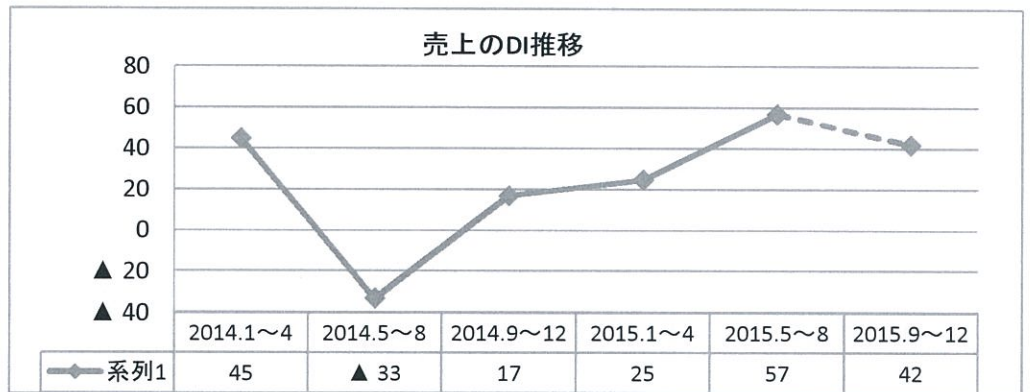


小売業

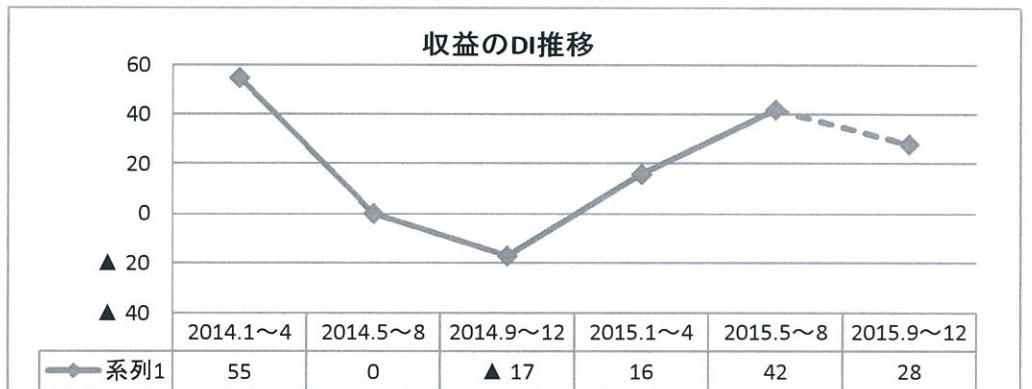
今期の業況は「良い」42.9%、「変わらず」57.1%、「悪い」0%でD.I.42となっており、前期(16)に比べ更に上昇しています。来期の業況はD.I.42と横並びとなる模様です。



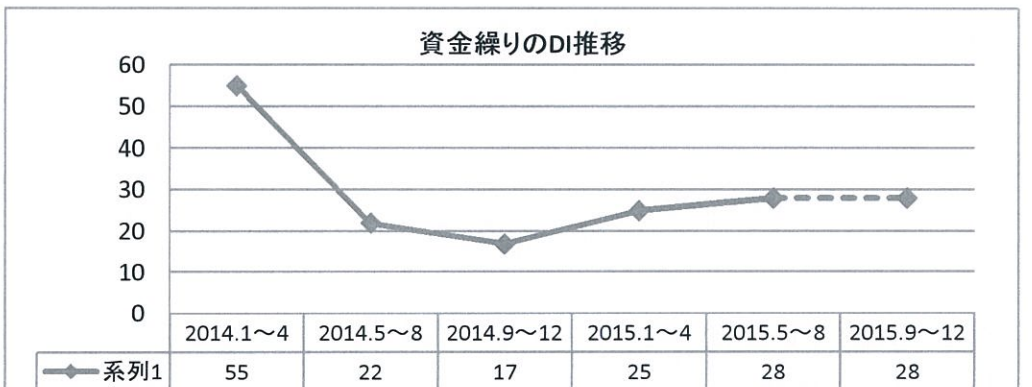
今期の売上は「良い」57.1%、「変わらず」42.9%、「悪い」0%でD.I.57となっており、前期(25)に比べ上昇しています。来期の売上はD.I.42と若干下降する見通しです。



今期の収益は「良い」42.9%、「変わらず」57.1%、「悪い」0%でD.I.42となっており、前期(16)に比べ上昇しています。来期の収益はD.I.28とやや下降する見通しです。

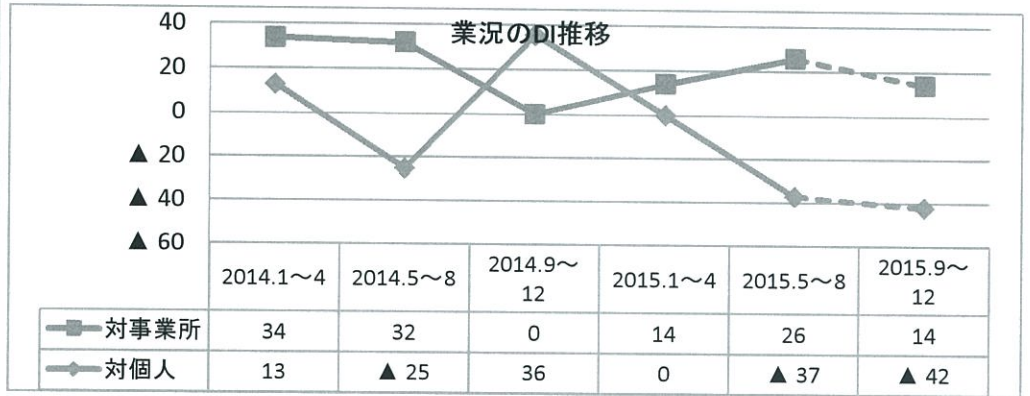


今期の資金繰りは「良い」28.6%、「変わらず」71.4%、「悪い」0%でD.I.28となっており、前期(25)に比べ微増しています。来期の資金繰りは(28)と横並びとなる模様です。

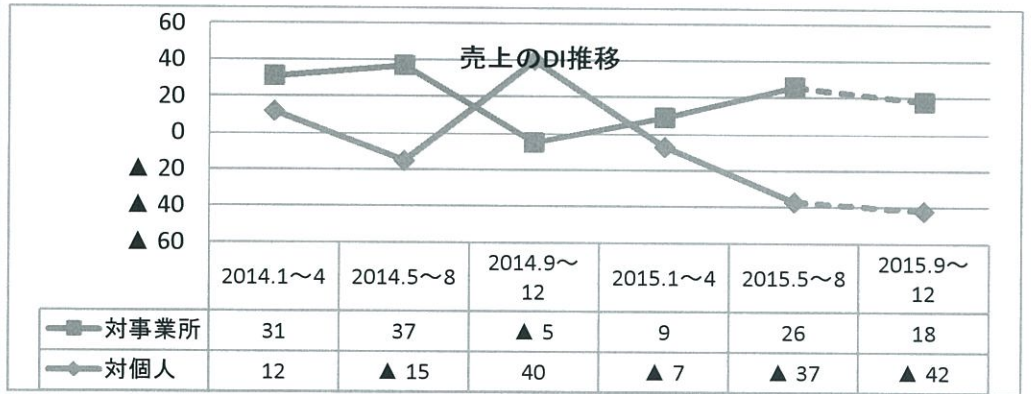


サービス業

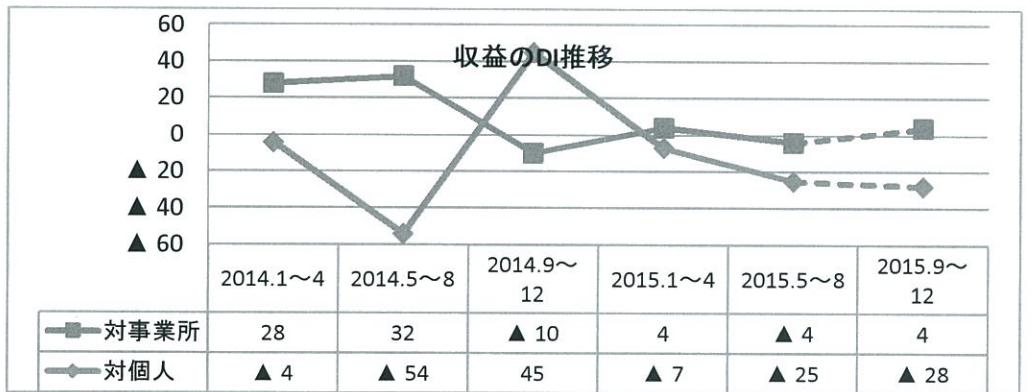
今期の対事業所向けの業況は「良い」34.8%、「変わらず」56.5%、「悪い」8.7%でD.I.26となっており、前期(14)に比べ上昇している状況です。来期の業況はD.I.14とやや下降する見通しです。対個人向けは「良い」14.3%、「変わらず」37.5%、「悪い」50.0%でD.I.▲37となっており、前期(14)に比べ更に下降しています。来期はD.I.▲42と引き続き下降の見通



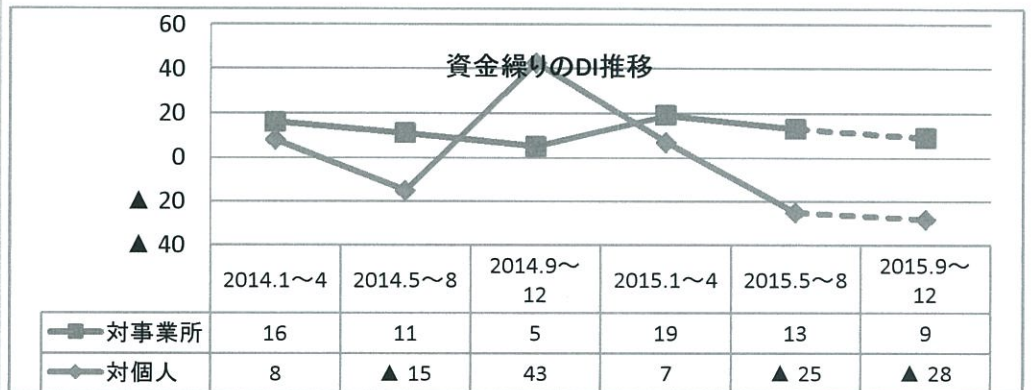
今期の対事業所向けの売上は「良い」30.8%、「変わらず」56.5%、「悪い」7.7%でD.I.26となっており、前期(9)に比べ引き続き上昇しています。来期の売上もD.I.18とやや下降する見通しです。対個人向けは「良い」12.5%、「変わらず」37.5%、「悪い」50.0%でD.I.▲37となっており、前期(▲7)と比べ引き続き下降しています。来



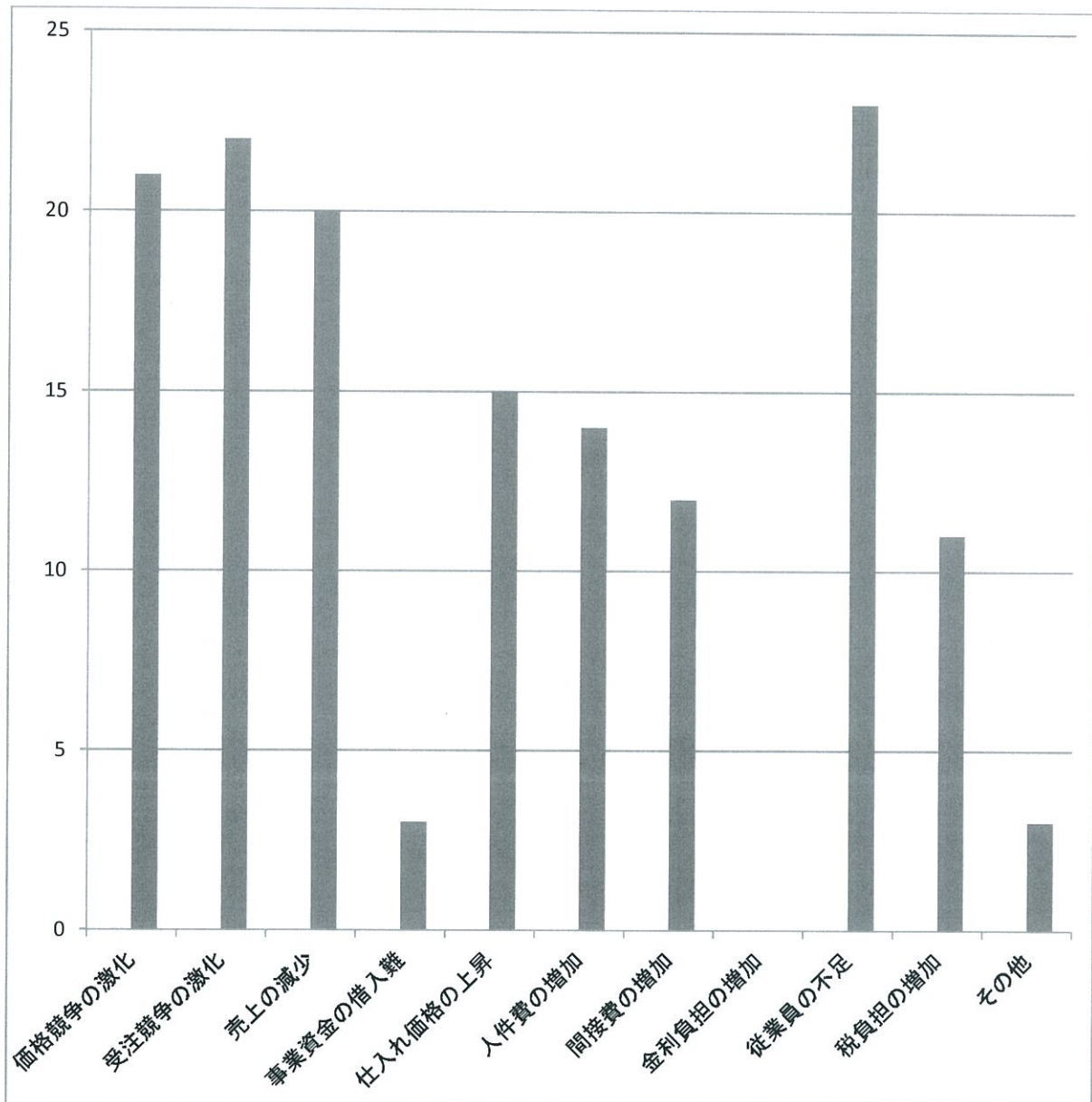
今期の対事業所向けの収益は「良い」26.1%、「変わらず」43.5%、「悪い」30.4%でD.I.▲4となっており、前期(4)に比べ下降しています。来期の収益はD.I.4とやや上昇する見通しです。対個人向けは「良い」12.5%、「変わらず」50.0%、「悪い」37.5%でD.I.▲25となっており、前期(▲7)に比べ引き続き落ち込みました。来期はD.I.▲28と下降する見通し



今期の対事業所向けの資金繰りは「良い」21.7%、「変わらず」69.6%、「悪い」8.7%でD.I.13となっており、前期(19)に比べやや下降しています。来期の資金繰りはD.I.9と若干下降する見通しです。対個人向けは「良い」12.5%、「変わらず」50.0%、「悪い」37.5%でD.I.▲25となっており、前期(7)に比べ大きくダウンしています。来

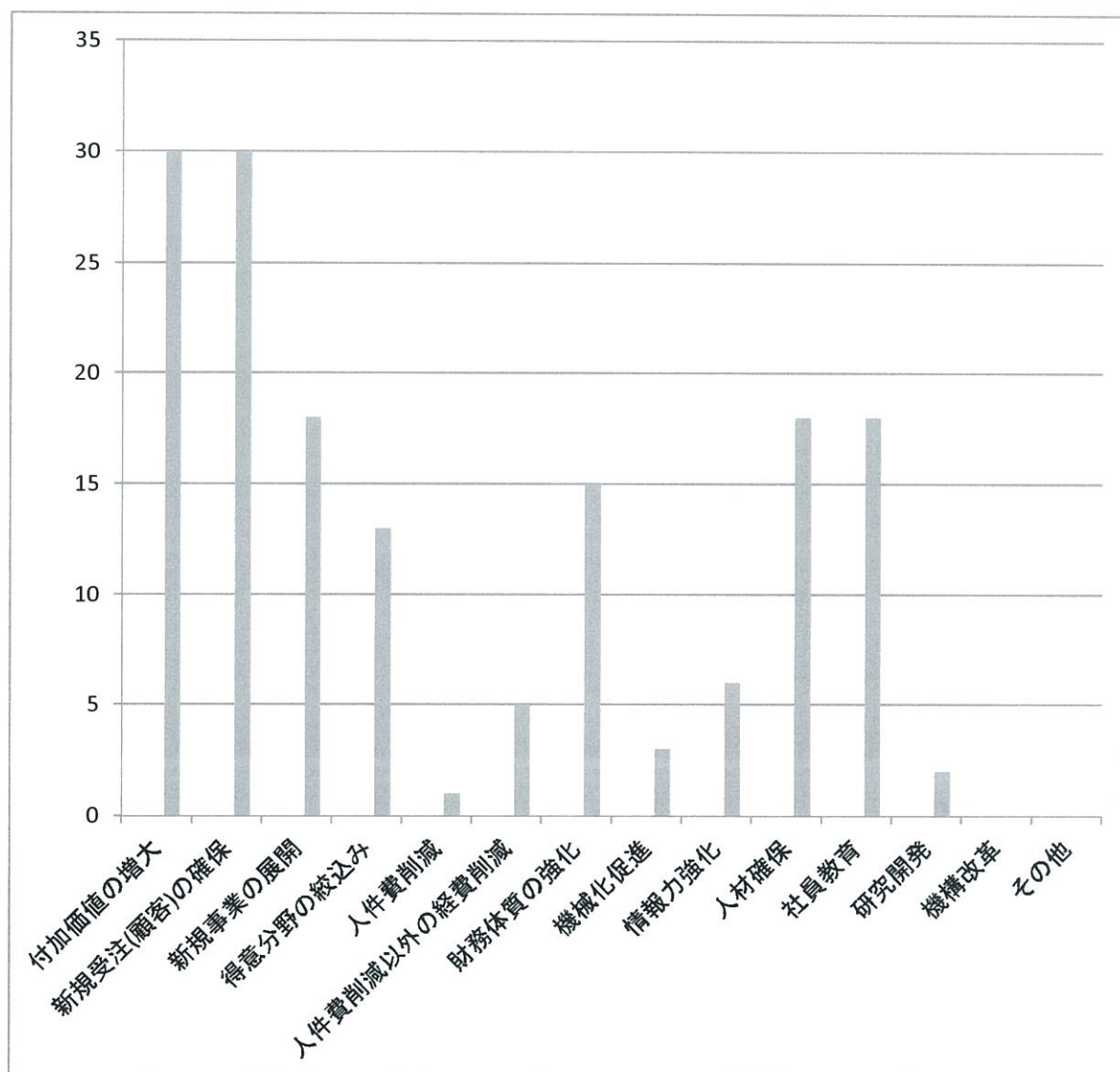


経営上の問題点



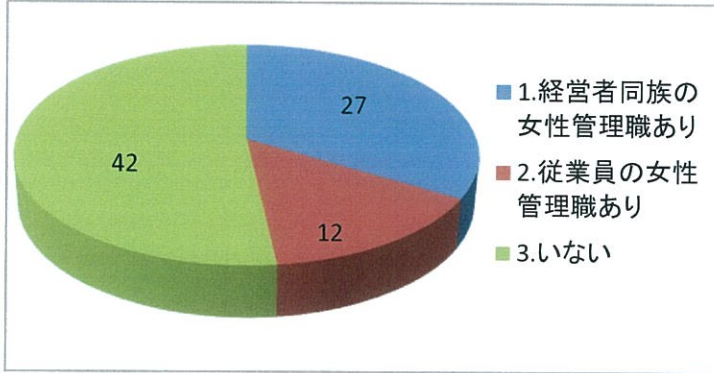
カテゴリー	件数	ウエイト
価格競争の激化	21	15%
受注競争の激化	22	15%
売上の減少	20	14%
事業資金の借入難	3	2%
仕入れ価格の上昇	15	10%
人件費の増加	14	10%
間接費の増加	12	8%
金利負担の増加	0	0%
従業員の不足	23	16%
税負担の増加	11	8%
その他	3	2%

経営上の力点

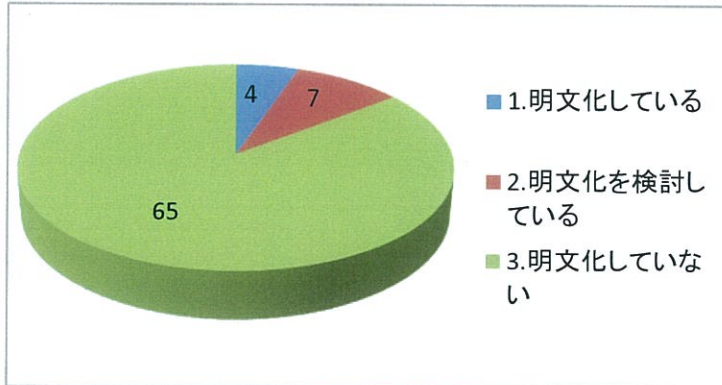


カテゴリー	件数	ウエイト
付加価値の増大	30	18.9%
新規受注(顧客)の確保	30	18.9%
新規事業の展開	18	11.3%
得意分野の絞込み	13	8.2%
人件費削減	1	0.6%
人件費削減以外の経費削減	5	3.1%
財務体質の強化	15	9.4%
機械化促進	3	1.9%
情報力強化	6	3.8%
人材確保	18	11.3%
社員教育	18	11.3%
研究開発	2	1.3%
機構改革	0	0.0%
その他	0	0.0%

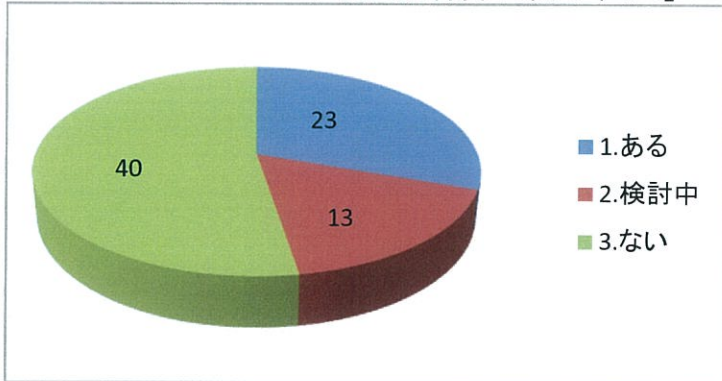
「貴社に女性管理職(役員又は係長級以上)はいますか？」



「会社方針(経営方針)上、女性管理職登用など女性活躍の推進を明確化、明文化していますか？」



「貴社に、非正規社員の正社員登用制度はありますか？」



「貴社の定年は何歳ですか？」

